



K中通信

学校だより 3号
令和4年5月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

実りある校外学習に

校長 佐藤 由利

令和4年度は学校経営方針の見直しの年ということで、昨年度末から校内で検討を進めてきました。学校教育目標は、この学校だよりのタイトル枠にも常に掲載してありますが、今年度も引き続き『主体的に考え行動し、未来を切り開く生徒の育成』をめざして取り組んでいくことになりました。

検討していく過程で、先生方それぞれに、「軽井沢中の生徒に、どんな生徒に育てほしいか」というアンケートをとりました。多かったのは、「自分で考えて自分から行動できるように」「自ら考えて企画・行動ができる生徒」という意見。他には、「自分を大切にできて周りの人も大切にできる生徒」「心豊かな生徒」等がありました。そして、「軽井沢中生の良いところは?」という質問については、現2,3年生について「真面目に物事に取り組むことができる」「仲間の個性を理解して受け入れることができる」「明るく前向きで、基本的な生活習慣が概ね身についている」といった意見が聞かれました。一方で、「身につけてほしい力」については、「コミュニケーション力」「自分の意見を発信する力」「状況や相手の心情などを想像し、見通しを立てて行動する力」などがあげられました。軽井沢中では、日々の生活、授業、行事等を通して生徒のみなさんの良い面をさらに伸ばしながら、これらの「身につけてほしい力」を育てていけるように取り組んでいきます。

この学校だよりが発行される時には、3年生の修学旅行は終わっていますが、3年生の出発前に行われた生徒会朝会で、各学年の校外学習と体育祭の実行委員長からの話がありました。それぞれにスローガンと行事のねらいや行事に対する思いをしっかりと発表してくれました。各行事に向けて、先生方や実行委員の人たちから、目標やスローガンを含め、こんなことを目指して、こういうことを意識していこう、といろいろな声かけがされていると思います。全てを意識して行動し、ねらいを達成できたら素晴らしいでしょうが、まずは、自分は特にこんなことをがんばってみよう、と自分なりの「重点目標」を考えてみましょう。「はじめて会う人もたくさんいるから、気持ちの良い挨拶を心がける。」「自分だけでなく、みんなが気持ちよく過ごさせているか、気を配る」・・・などなどいろいろ考えられることでしょう。一つでも、複数でも良いです。全体の目標から、自分なりの目標をたてて、行事に臨んでみましょう。

それぞれの行事が皆さんの成長につながる充実したものになるように願っています。